

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
39411津野 町	②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティアの 確保・育成	町内には2つの中学校区があり、各中学校区で学校運営協議会を行っているが、校区によって協議会の年間実施回数や、協議会への参加人数にかなり違いがある。よって、学校への地域住民の関わり方にも、校区により差があることが課題である。	令和6年度中において、地域課題への対応力を高めるため、協議会の開催回数を増やすとともに、参加人数の拡大を図る方針を関係者に伝達した。	活動的な中学校区の学校運営協議会を参考にし、もっと学校に地域の方が関われる環境を作るためにも、まずは運営協議会に多くの地域住民を呼ぶ。その際、コーディネーターを通して協議会内容に関係のある方、学校の現状に必要なと思う方など、広く声をかけてもらう。また、初めての参加でも意見を言いやすい環境をつくるために、少人数に分かれてのグループワークや、わかりやすい協議内容の設定に努め、必要な支援の実施につなげる。	学校への必要な支援に広く対応できる環境をつくるために、学校運営協議会への地域住民の参加を増やす。	学校運営協議会1回あたりの地域住民の参加人数	3	人	6	6	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。学校運営協議会の開催回数及び地域住民の参加人数の拡大により2つの中学校区の数値的な差は解消され、より多くの地域住民に学校運営に関わっていただくことができた。今後、コーディネーター等を通して協議会内容に関係のある方に声掛けし、多様な人の参画を促す。